

両川地区市政懇談会

地域の活性化に向けて意見交換

地域の皆さんと市長が身近な課題について話し合う、両川地区市政懇談会が7月26日に行われました。同地区では、地域の住民で地域づくりを考えていくと、両川地区活性化研究会」を平成9年に発足。ア

地区別議題

質問 両川地区の人口対策
市長 鶴亀橋架橋工事と小阿賀野川の改修に伴う移転者について、継続して酒屋地域に住めるような方向で努力していく。公共事業に伴う移転の場合は、市街化調整区域の開発など特段の配慮も可能だと思ふ。



両川地区市政懇談会

質問 産業振興対策
市長 地域で採れた生産物の直売所や観光案内などがある施設をつくってはどうかということであるが、適当な場所の確保や生産者の協力体制ができるかどうかなど研究しなければならぬ課題がある。

質問 住民の意識改革
市長 地域の発展のため、住民の気持ちを高めていく

たが、同団地には、未分譲の部分が残っている。ＥＴ（情報技術）の時代であるので、小さな町工場で高生産を上げるといふ生産体系も出てきており、少し情勢が変わってきている。住宅地域と工業地域の共存も十分あり得ると思う。新しい市街地の開発は、今までと違ったやり方も考えられ

にはどうしたら良いかという難しい問題である。地域の歴史を生かした催し物を行うなど、両川地域にふさわしい、地域の人が誇りに思える事業を展開していくことが大事であると思う。

質問 環境基盤の整備
市長 大外環状線については、各市町村で整備するよりも、県事業ですべきではないかという運動を行い、県道に認定してもらった。現在、約3分の1の部分で事業が進められ、残りの部分をどのような手法で整備するかを早急に詰めていかなければならない。路線の位置については、建設省の補助金をもらいながら決定していこうと思う。

小阿賀野川の整備についてだが、河川法の改正もあつて、河川の整備をする場合は、地域の声を聞くようになった。という仕組みになった。

敬老の日に祝金を贈呈

対象は77歳・88歳・100歳

市では、9月15日の「敬老の日」に、長寿のお祝い

として祝金を贈ります。昨年度まで80歳以上の市民全員に贈っていましたが、今年度から平成13年3月31日現在で、77歳（喜寿）、88歳（米寿）、100歳（上寿）の長寿の節目とされている年齢の人を対象に贈呈。祝金の額は、それぞれ5000円、1万円、10万円と昨年に比べおおむね倍増しました。

今年度末までに65歳以上になる人は、市内で約8万3000人。そのうち祝金の対象者は約4000人です。なお、77歳、88歳、95歳、100歳以上の人に贈呈していた祝品は廃止しました。

問い合わせ 高齢者福祉課（内線2655）へ

県消防大会 ポンプ操法競技会 西消防団が優勝

県内消防団の強化と消防技術の向上や土気の高揚を図るため、毎年開催されている県消防大会ポンプ操法競技会が、8月6日に糸魚

大会の結果、西消防団第12分団が、ポンプ車操法の部で優勝を果たしました。本市から参加したチームが優勝したのは、平成6年以来2度目。また、東消防団第11分団は、惜しくも入賞を逃しましたが、今後の活躍が期待される内容でした。

子育て応援パンフ「スキップ」を配布



同パンフでは、妊娠中や出産、育児など子どもの成長に合わせた各種検診や講習会、相談窓口などを紹介。また、休日・夜間に利用できる医療機関や子どもが安心して遊べる施設なども掲載しています。

配布場所 児童福祉課（市役所本館2階）、地区事務所、連絡所、地域保健福祉センター
問い合わせ 児童福祉課（内線2617）へ

川市で行われました。

大会には県内から25チームが参加。本市からは、西消防団第12分団（赤塚）と東消防団第11分団（濁川）の2チームが大会にのぞみました。



保険料の滞納

1年以上滞納した場合
保険給付の方法が変わります。

介護保険からサービスを利用すると、利用者は費用の1割を利用料として自己負担し、残りの9割が保険から給付されますが、1年以上滞納すると、利用した介護サービス費用をいったん全額支払わなければならなくなりま

す。後日、市から保険給付（9割）分の払

い戻しを受けることになりま

す。また、高額介護サービス費が支給されなくなります。

1年6カ月以上滞納した場合
利用者への保険給付（9割）の払い戻しが一時的に一部あるいは全部差し止められます。それでもなお、保険料を納めない場合は、差し止めた保険給付の額から滞納している保険料の額が差し引かれます。

国民健康保険証の再発行

市では、国民健康保険の新規資格取得や再発行など、保険証を交付する際に、窓口で申請者の身分を証明できるものを提示してもらっています。

これは、保険証の悪用を目的とした、他人による不正な取得を防ぐために行っているものです。

申請の際は、免許証、パスポート、年金手帳・証書など、身分を証明できるものを必ず持参してください。

問い合わせ 国民健康保険課（内線2692）へ

国民健康保険料の納入は便利で確実な口座振替で

国保料は、口座振替でも納入できます。口座振替依頼書を提出した翌月から引き落としされます。

希望する人は、口座のある金融機関に備え付けてある用紙に必要事項を記入し提出してください。

問い合わせ 国民健康保険課（内線2684）へ

両川地区市政懇談会

地域の活性化に向けて意見交換

地域の皆さんと市長が身近な課題について話し合う、両川地区市政懇談会が7月26日に行われました。同地区では、地域の住民で地域づくりを考えていくと、両川地区活性化研究会」を平成9年に発足。ア

地区別議題

質問 両川地区の人口対策
市長 鶴亀橋架橋工事と小阿賀野川の改修に伴う移転者について、継続して酒屋地域に住めるような方向で努力していく。公共事業に伴う移転の場合は、市街化調整区域の開発など特段の配慮も可能だと思ふ。



両川地区市政懇談会

質問 産業振興対策
市長 地域で採れた生産物の直売所や観光案内などがある施設をつくってはどうかということであるが、適当な場所の確保や生産者の協力体制ができるかどうかなど研究しなければならぬ課題がある。

質問 住民の意識改革
市長 地域の発展のため、住民の気持ちを高めていく

たが、同団地には、未分譲の部分が残っている。ＥＴ（情報技術）の時代であるので、小さな町工場で高生産を上げるといふ生産体系も出てきており、少し情勢が変わってきている。住宅地域と工業地域の共存も十分あり得ると思う。新しい市街地の開発は、今までと違ったやり方も考えられ

にはどうしたら良いかという難しい問題である。地域の歴史を生かした催し物を行うなど、両川地域にふさわしい、地域の人が誇りに思える事業を展開していくことが大事であると思う。

質問 環境基盤の整備
市長 大外環状線については、各市町村で整備するよりも、県事業ですべきではないかという運動を行い、県道に認定してもらった。現在、約3分の1の部分で事業が進められ、残りの部分をどのような手法で整備するかを早急に詰めていかなければならない。路線の位置については、建設省の補助金をもらいながら決定していこうと思う。

小阿賀野川の整備についてだが、河川法の改正もあつて、河川の整備をする場合は、地域の声を聞くようになった。という仕組みになった。

敬老の日に祝金を贈呈

対象は77歳・88歳・100歳

市では、9月15日の「敬老の日」に、長寿のお祝い

として祝金を贈ります。昨年度まで80歳以上の市民全員に贈っていましたが、今年度から平成13年3月31日現在で、77歳（喜寿）、88歳（米寿）、100歳（上寿）の長寿の節目とされている年齢の人を対象に贈呈。祝金の額は、それぞれ5000円、1万円、10万円と昨年に比べおおむね倍増しました。

今年度末までに65歳以上になる人は、市内で約8万3000人。そのうち祝金の対象者は約4000人です。なお、77歳、88歳、95歳、100歳以上の人に贈呈していた祝品は廃止しました。

問い合わせ 高齢者福祉課（内線2655）へ

県消防大会 ポンプ操法競技会 西消防団が優勝

県内消防団の強化と消防技術の向上や土気の高揚を図るため、毎年開催されている県消防大会ポンプ操法競技会が、8月6日に糸魚

大会の結果、西消防団第12分団が、ポンプ車操法の部で優勝を果たしました。本市から参加したチームが優勝したのは、平成6年以来2度目。また、東消防団第11分団は、惜しくも入賞を逃しましたが、今後の活躍が期待される内容でした。

子育て応援パンフ「スキップ」を配布



同パンフでは、妊娠中や出産、育児など子どもの成長に合わせた各種検診や講習会、相談窓口などを紹介。また、休日・夜間に利用できる医療機関や子どもが安心して遊べる施設なども掲載しています。

配布場所 児童福祉課（市役所本館2階）、地区事務所、連絡所、地域保健福祉センター
問い合わせ 児童福祉課（内線2617）へ

川市で行われました。

大会には県内から25チームが参加。本市からは、西消防団第12分団（赤塚）と東消防団第11分団（濁川）の2チームが大会にのぞみました。



保険料の滞納

1年以上滞納した場合
保険給付の方法が変わります。

介護保険からサービスを利用すると、利用者は費用の1割を利用料として自己負担し、残りの9割が保険から給付されますが、1年以上滞納すると、利用した介護サービス費用をいったん全額支払わなければならなくなりま

す。後日、市から保険給付（9割）分の払

い戻しを受けることになりま

す。また、高額介護サービス費が支給されなくなります。

1年6カ月以上滞納した場合
利用者への保険給付（9割）の払い戻しが一時的に一部あるいは全部差し止められます。それでもなお、保険料を納めない場合は、差し止めた保険給付の額から滞納している保険料の額が差し引かれます。

国民健康保険証の再発行

市では、国民健康保険の新規資格取得や再発行など、保険証を交付する際に、窓口で申請者の身分を証明できるものを提示してもらっています。

これは、保険証の悪用を目的とした、他人による不正な取得を防ぐために行っているものです。

申請の際は、免許証、パスポート、年金手帳・証書など、身分を証明できるものを必ず持参してください。

問い合わせ 国民健康保険課（内線2692）へ

国民健康保険料の納入は便利で確実な口座振替で

国保料は、口座振替でも納入できます。口座振替依頼書を提出した翌月から引き落としされます。

希望する人は、口座のある金融機関に備え付けてある用紙に必要事項を記入し提出してください。

問い合わせ 国民健康保険課（内線2684）へ

1歳6カ月児健康診査

対象 平成11年2月生まれ(西・北地区は1月生まれ含む、入舟・曽野木地区は10月実施)
持ち物 母子健康手帳、問診票、フッ素塗布希望者は料金1,020円
申し込み 電話で各会場へ

3歳児健康診査

対象 平成9年3月生まれ(西・北地区は10月実施、入舟・曽野木地区は11月実施)
持ち物 母子健康手帳、問診票、尿、印鑑、フッ素塗布希望者は料金1,020円
申し込み 電話で各会場へ

精神障害者生活支援相談

日時 9月2・16日午前11時～午後2時
会場 総合福祉会館
申し込み 当日直接会場へ
問い合わせ 保健所健康増進課(内線3666)へ

酒害相談

日時 9月4・18日午後1時～3時
会場 保健所健康増進課(市役所第2分館1階) 対象 酒で悩む人・家族
申し込み 会場(内線3666)へ 予約制

フッ素塗布

受付時間 午前9時半～10時半
対象 4歳未満児
持ち物 母子健康手帳、1,020円
申し込み 電話で各会場へ

月日	会場	定員(先着)
9/1	南地域保健福祉センター	150人
9/1・13	坂井輪地域保健福祉センター	各日70人
9/14・28	東地域保健福祉センター	各日50人
9/20	石山地域保健福祉センター	150人
	中央地域保健福祉センター	70人
9/21	中地域保健福祉センター	100人

医師による老人精神保健福祉相談

対象 痴ほうなどで困っている人・家族
月日 会場 時間
9・12 東地域保健福祉センター 午後1時半～3時半
9・28 中央地域保健福祉センター
申し込み 保健所健康増進課(内線3666)へ 予約制

医師による精神保健福祉相談

日 会場 時間
毎週火曜日 中央地域保健福祉センター 午後1時半
毎週木曜日 東地域保健福祉センター ~3時半
申し込み 保健所健康増進課(内線3666)へ 予約制

股関節検診

対象 平成12年5月生まれ
持ち物 母子健康手帳、レントゲン診断料1,250円 受付時間 午後1時～2時
問い合わせ 保健所保健予防課(内線3643)へ

月日	対象小学校区
9・5	万代 南万代 長嶺 沼垂 笹口 上所 女池 中野山 東中野山 南中野山 山湯 江南 桜が丘 上山 鳥屋野 丸山 大淵 紫竹山
9・19	山の下 桃山 東山の下 下山 竹尾 木戸 牡丹山 曽野木 東曾野木 酒屋 割野 松浜 濁川 南浜 太夫浜 大形

月日	対象小学校区
9・25	五十嵐 真砂 坂井輪 坂井東 新通 湊 栄 有明台 笠木 小瀬 入舟 豊照 小針 青山 東青山 浜浦 関屋 新潟 白山 鏡淵 木山 赤塚 内野 西内野

低肺機能教室

日時 9月14・28日、10月11日午前10時～午後3時半 9月28日は午後1時半から。3日1コース
会場 万代市民会館 参加費 300円
内容 肺機能検査、講演、実技、試食、交流会 定員 先着40人
申し込み 保健所健康増進課(内線3662)へ

児童扶養手当 現況届は8月31日まで

持ち物 現況届用紙、児童扶養手当証書、世帯全員の住民票、印鑑、ほか
提出先 児童福祉課(市役所本館2階) 地区事務所
問い合わせ 児童福祉課(内線2616)へ

ひとり親家庭等医療費受給者証 更新申請は8月31日まで

ひとり親家庭等医療費受給者証の有効期限は9月30日までです。10月1日以降も助成を受けるには、8月31日までに更新申請を行ってください。
問い合わせ 児童福祉課(内線2617)へ

1歳誕生歯科健康診査

対象 平成11年9月生まれ(曽野木地区は10月実施)
持ち物 母子健康手帳、問診票、フッ素塗布希望者は料金1,020円
問い合わせ 保健所保健予防課(内線3647)へ 案内と問診票は対象者に郵送

フン害撲滅キャンペーン

日時 きょう27日午前9時～10時
集合場所 寺尾中央公園正面向入口駐車場
内容 フン害防止を呼び掛けながらフンやごみを回収し、ウンチバックを配布する 申し込み 直接集合場所へ